

第7期 事業報告書



自 平成29年 6月 1日
至 平成30年 5月31日

公益財団法人東日本大震災復興支援財団

目 次

第 1. 法人の概況

1. 設立年月日
2. 定款に定める目的
3. 定款に定める事業内容
4. 行政庁に関する事項
5. 主たる事務所および従たる事務所の状況
6. 役員等に関する事項
7. 職員に関する事項

第 2. 事業の状況

1. 事業の実施状況
2. 役員会等に関する事項

第1. 法人の概況

1. 設立年月日

2011年（平成23年）6月14日

2. 定款に定める目的

本財団は、大規模自然災害等への復興支援に寄与することで、一日も早い日本の復興に貢献すること及び、災害に対する認知向上、寄附文化の普及啓発を目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 被災した子供たちの健全な育成支援
- (2) 被災地の復興活動に対する助成
- (3) 継続的な復興支援を支える寄附文化の醸成
- (4) 被災地での復興活動支援
- (5) 復興支援ポータルサイトの運営
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 行政庁に関する事項

内閣総理大臣

5. 主たる事務所および従たる事務所の状況

（主たる事務所）

〒105-7313

東京都港区東新橋一丁目9番1号 東京汐留ビルディング13階

TEL 03-6889-1560

FAX 03-6889-1568

（従たる事務所）

〒980-0013

宮城県仙台市青葉区花京院一丁目1番20号 花京院スクエア23階

6. 役員等に関する事項

代表理事	立石 勝義
理事	荒井 優
理事	佐藤 大吾
理事	大橋 智哉
理事	岡本 正
理事	所澤 新一郎
理事	池田 昌人

監事	君和田 和子
監事	佐藤 健文

評議員	寺島 実郎
評議員	小宮山 宏
評議員	村井 純
評議員	中村 伊知哉
評議員	藤原 和博
評議員	青野 史寛

7. 職員に関する事項

職員数 男性 12名 女性 6名 合計 18名
(平成 30 年 5 月 31 日現在)

第2. 事業の状況

1. 事業の実施状況

2011年の財団設立より、東日本大震災の被災者の一日も早い生活復旧に貢献するための支援事業や、被災者による主体的な生活再建のための被災者同士の対話の場作り等を通じた支援を行い、2013年からは復興を支える人材の育成を目的とした事業も展開してまいりました。

第7期目にあたる本年度は、助成事業としてNPO・団体支援「子どもサポート基金」の2018年度複数年度助成の募集、震災で保護者を亡くした子どもたちへの支援「18歳まで携帯料金サポート」、高校生対象給付型奨学金「まなべる基金」をはじめ、若者の力で東北に「活気」と「変化」を創造するために復興支援活動および振興活動を資金面と人材面から支援する「ユースアクション東北」を実施いたしました。また、寄附事業として被災地の復興を担う人材の育成を目的とした「福島人材育成支援」、「みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業」の実施に加え、主体的に計画・行動する力を育む子どもたちを支援する「東北「夢」応援プログラム」を実施いたしました。そのほか、復興活動に関わる団体への寄附も行いました。

事業の概要

1. 支援団体への助成金（子どもサポート基金）

(1) 支援目的

東日本大震災で被災した子どもたちが、心身の健康を回復維持し、主体性を発揮して希望を持って逞しく成長することをサポートするために、子どもたちへの支援活動等を行う団体の活動を支援する。

(2) 支援対象者

東日本大震災に起因する子どもを取り巻く課題の解決または東北の復興や発展を担う人材の育成のため、中長期的な計画に基づき継続的な活動を実施する団体を対象とする。

(3) 支援実績

本年度は新たに複数年度助成を実施し、2016年より継続している団体については活動状況（目標達成度や課題解決の状況）を鑑み支援を実施した。

(4) 支援実績

本年度の支援実績は以下の通り。

	活動対象期間	支援件数	支援総額
2018年度	2018年 4月 ～ 2023年 3月	14件	26,736万円

過去の支援実績は以下の通り。

	活動対象期間	支援件数	支援総額
第1期	2011年 10月 ～ 2012年 3月	51件	9,494万円
第2期	2012年 4月 ～ 2012年 9月	72件	9,674万円
第3期	2012年 10月 ～ 2013年 4月	52件	9,760万円
第4期	2013年 4月 ～ 2013年 9月	54件	7,466万円
2014年度上期	2014年 4月 ～ 2014年 9月	40件	10,734万円
	2014年 4月 ～ 2015年 3月 (1年)		
2014年度下期	2014年 10月 ～ 2015年 3月	17件	2,874万円
2015年度	2015年 4月 ～ 2016年 3月 (1年)	27件	7,136万円
2016年度	2016年 4月 ～ 2021年 3月	22件	20,093万円

設立からの支援件数は349件、支援総額は103,967万円(今後の予定額も含む)。

2. 高校生対象給付型奨学金(まなべる基金)

(1) 支援目的

東日本大震災での被災を起因とする経済的困窮が理由で、高校等への就学・進学が困難な若者に、学業の継続を可能とし、高校等を修学することを支援する。

(2) 支援対象者

東日本大震災で被災した生徒で、平成30年4月1日時点で高等学校、高等専門学校、または高等専修学校等に在籍していることが見込まれる生徒。

(3) 支援内容

支援対象者が高等学校、高等専門学校(3年生まで)、または高等専修学校に在学する期間(最長3年間)に以下の助成を実施する。

(4) 支援実績

本年度の支援実績は以下の通り。※今後の給付予定額も含む。

	対象期間(最長)	支援額	支援者数	支援総額(※)
第7期生	2018年4月～2021年3月	年額16万円	76名	0.32億円

過去の支援実績は以下の通り。※今後の給付予定額も含む。

	対象期間(最長)	支援額	支援者数	支援総額(※)
第1期生	2012年4月～2016年3月	月額2万円	1,199名	6.58億円
第2期生	2013年4月～2017年3月	月額2万円	813名	4.54億円
第3期生	2014年4月～2018年3月	月額2万円	472名	3.01億円
第4期生	2015年4月～2019年3月	年額16万円	96名	0.40億円
第5期生	2016年4月～2019年3月	年額16万円	77名	0.33億円
第6期生	2017年4月～2021年3月	年額16万円	91名	0.39億円

設立からの本年度までの支援者数は2,824名、支援総額は15.57億円。

3. デジタル情報端末料金無償化（18歳まで携帯料金サポート）

(1) 支援目的

東日本大震災で保護者を亡くした子どもたちの身近な人とのコミュニケーションをサポートすることで、孤立を防止するとともに世帯の経済的な負担を軽減する。

(2) 支援対象者

東日本大震災で孤児となった18歳未満の子どもたち

(3) 支援内容

支援対象者が満18歳になるまで、デジタル情報端末（携帯電話・スマートフォン・PHSなど）の料金および利用料金を、契約する通信会社を問わず月額1万円まで支援する。

(4) 支援実績

本年度および設立からの支援額は以下の通り。

	支援額
2017年度	188万円
2011～2016年度	1,429万円
支援総額	1,617万円

支援者数：51名（支援を終了した人数も含む。）

4. 若者人材育成（ユースアクション東北）

(1) 支援目的

地域課題を解決するために行動する若者を増やし、若者の力で東北に活気と変化を創造するために、岩手・宮城・福島の若者に課題発見と解決の実践を行う機会を提供し、思いを実現できる人材の育成を目指す。

(2) 支援対象者

- ①岩手・宮城・福島の3県に居住している高校生、大学生等から構成された団体
- ②上記の活動を行う若者をサポートする意欲を持つ成人

(3) 支援内容

①若者の活動支援

地域課題を解決するための活動資金の助成、活動をサポートする成人等の紹介、学びを促進するためのセミナー等を提供することで、思いの実現を支える。

②若者をサポートする大人（伴走者）への支援

活動を実施する若者をサポートするためのスキルやコミュニケーション方法等を学ぶための機会を提供する。また伴走者が交流する機会を設けることで、相互の学びを促進する。

(4) 支援実績

(ア) 支援件数：40 件

(イ) 支援総額：427 万円

支援の詳細は以下の通り。

	支援件数	支援額
① 若者の活動支援	3 件	60 万円
② サポートする大人（伴走者）への支援	37 件	367 万円

過去の支援実績は以下の通り。

	支援件数	支援額
① 若者の活動支援	21 件	303 万円
② サポートする大人（伴走者）への支援	54 件	840 万円

※支援対象期間は、助成決定から1年間（最長）

設立からの本年度までの支援件数は115件、支援総額は1,570万円。

5. 寄附活動

A. 福島人材育成支援

(1) 支援目的

体験活動を通じて子どもたちの可能性を引き出し、将来の福島県の復興を支える心身ともにたくましい人材を育成する。

(2) 支援対象

東日本大震災および原子力発電所の事故により被災した福島県および避難先の子どもたち。

(3) 支援内容

福島県の未来を担う人材の育成を目指し、自然体験や、郷土文化の学習、国際交流など、一年をかけて総合的な体験活動を提供する。仲間と一緒に寝食を共にし、様々なチャレンジを重ねながら、福島の未来や自分自身の将来を描く。

(4) 支援実績

(ア) 支援者数：44 名

(イ) 支援総額：1,000 万円

B. みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業

(1) 支援目的

スポーツを通じて子どもたちの可能性を引き出し、将来の宮城の復興を支える心身ともにたくましい人材を育成するとともに、宮城県の子どもたち全体の体力向上を目指す。

(2) 支援対象者

宮城県内の運動能力等の優れた小学生 4 年生～6 年生

(3) 支援内容

多様な競技の体験機会を提供するとともに、身体能力を高めるための最先端のトレーニング方法、トップアスリートになるために必要な健康管理方法、復興を担う人材としての心の成長に必要な学びの機会等を提供する。

(4) 支援実績

本年度の支援実績は以下の通り。

	対象期間	支援者数	支援総額
2017 年度	2018 年 4 月～2019 年 3 月末	90 名	5,100 万円

過去の支援実績は以下の通り。

① 「みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業」

	対象期間	支援者数	支援総額
2012 年度	2013 年 4 月～2014 年 3 月末	102 名	8,800 万円
2013 年度	2014 年 4 月～2015 年 3 月末	96 名	7,300 万円
2014 年度	2015 年 4 月～2016 年 3 月末	86 名	6,800 万円
2015 年度	2016 年 4 月～2017 年 3 月末	90 名	6,300 万円
2016 年度	2017 年 4 月～2018 年 3 月末	90 名	5,800 万円

② 「未来を担うみやぎっ子」体力向上キャンペーン (宮城県内の小学生対象なわとび事業)

	対象期間	参加校	支援総額
2013 年度	2014 年 4 月～2015 年 3 月末	のべ 211 校	500 万円
2014 年度	2015 年 4 月～2016 年 3 月末	のべ 234 校	420 万円

設立からの本年度までの支援総額は 4.1 億円。(支援者数 554 名、参加校数 445 校)

C. 復興活動に関わる団体活動への寄附

	支援内容	支援先	支援金額
①	福島県における小・中学生向け基礎体力・運動能力の向上およびスポーツを通じた人材育成事業（2017～2018年度分）	公益財団法人福島県体育協会	1,158万円
②	東北3県の高校生を対象としたリーダーシップ育成プログラムの実施	特定非営利活動法人キッズドア	200万円
③	岩手県宮古市における体力向上プログラムの実施	特定非営利活動法人エムジョイ	100万円
④	福島県大熊町の中学生を対象にした人材育成事業「漫才講座」の実施	特定非営利活動法人 会津エンジン	19万円
⑤	福島県内で開催する親子砂遊びプログラム事業	NPO法人福島 SAND-STORY	159万円
⑥	宮城県気仙沼市の高校生を対象としたリーダーシップ育成プログラムの実施	気仙沼の高校生マイプロジェクトアワード実行委員会	109万円
⑦	「復興まちづくり情報交流館プロジェクト」の実施	学校法人専修大学 石巻専修大学	17万円
⑧	福島県内の中学生を対象としたリーダーシップ育成プログラムの実施	特定非営利活動法人 TATAKIAGE Japan	49万円
⑨	音楽の力で福島県内の子どもたちの心のケアを行う活動の実施	魂に響くギフトコンサートの会	221万円
⑩	福島の幼児への運動機会の提供を行う「あそんで体力アップアップ事業」の実施	公益財団法人福島県体育協会	346万円
⑪	東北3県の高校生を対象とした登山を通じた人材育成事業	一般社団法人田部井淳子基金	250万円

※一万円以下は、四捨五入

D. 東北「夢」応援プログラム

(1) 支援目的

子どもたちがスポーツや芸術活動などにおける目標を達成するために、主体的に計画・行動できる力を育み、将来の東北を担う人材の育成を目指す。

(2) 支援対象者

岩手県、宮城県、福島県の小学生～高校生

(3) 支援内容

スポーツや芸術活動などにおける目標を達成するために必要な計画、実行、評価、改善のプロセスを学ぶ機会を提供する。被災地にいる子どもたちとプロのコーチなどをつなげ、遠隔地等からでもアドバイスを直接受けられるようにする。

(4) 支援実績

本年度の支援実績は以下の通り。※今後の支援額を含む。

	対象期間	支援団体数	参加者(のべ)	支援総額
2017年度	2017年6月～2018年5月末	20件	352名	4,250万円

過去の支援実績は以下の通り。

	対象期間	支援団体数	参加者(のべ)	支援総額
2015年度	2015年6月～2016年5月末	2件	20名	530万円
2016年度	2016年6月～2017年5月末	12件	229名	2,519万円

設立からの本年度までの支援総額は7,299万円。(支援件数34件、参加者数601名)

2. 役員会等に関する事項

本年度の会議は以下の通り開催。

【理事会】

2017年6月19日開催

(審議事項)

まなべる基金（第7期）実施について、みやぎジュニア2018年度の実施について
(報告事項)

各事業の進捗状況について、特別寄附金の振替について

2017年7月7日開催

(審議事項)

まなべる基金（第7期）応募資格の見直しについて

2017年8月7日開催

(審議事項)

職員の働き方について、評議員会の決議の目的事項について

第6期（平成28年度）の計算書類等について

子どもサポート基金2018年度の実施について

(報告事項)

第6期監査報告について

2017年8月28日開催

(審議事項)

代表理事の選任について

2017年10月16日開催

(報告事項)

財務報告について、職員の働き方に関するアンケート結果について

2017年11月21日開催

(審議事項)

今後の体制について

2017年12月18日開催

(審議事項)

(継続) 体制の再検討

ユースアクション東北 支援対象の拡大に伴う内閣府申請の修正について

子どもサポート基金2018年度の追加予算承認について

(報告事項)

東北「夢」応援プログラムの現況、まなべる基金の応募状況、財務報告

2018年2月19日開催

(審議事項)

評議員会決議事項について、組織変更および組織変更に伴う規程の変更について
東北「夢」応援 2018年度事業計画について
まなべる基金 2018年度使途指定寄附の募集について
福島こども未来塾 継続寄附について

(報告事項)

ユースアクション東北 2018年度事業計画について
まなべる基金(第7期)事業進捗について
みやぎジュニア 2018年度予算・活動報告について
財団シニアアドバイザーの委嘱期間延長について
有事の際の緊急対応フローについて、財務報告、その他

2018年4月16日開催

(審議事項)

理事等の関わる取引、ユースアクション東北 2018年度の実施について
監査法人への会計監査の依頼について、規程の変更について

(報告事項)

財務報告

2018年5月21日開催

(審議事項)

2018年度事業計画について

(報告事項)

財団シニアアドバイザーの委嘱について
その他(引用条項番号の修正、通信キャリア・通信システム等の選択時における注意
文追記)

【評議員会】

2017年8月23日開催

2018年3月15日開催